

FORUM & SEMINAR

(新任)CIOセミナー&懇談会

主催：リサーチ・コンサルティング事業本部
1999年8月30日、9月20日、10月4日、18日（東京）

21世紀の企業経営は、情報および情報システムを抜きにして語れない。当然、企業のCIO（最高情報統括責任者）への期待と責任は膨らむ一方である。そこで、リサーチ・コンサルティング事業本部では、直近1年間にCIOに着任された方々を対象に、CIOに資する情報を提供し、CIOのあり方について懇談する場を提供している。

本セミナー&懇談会は、前半では当本部で経験、蓄積した業務革新や情報システム、経営管理システムに関する種々のコンサルティングのケースやコンセプトを問題提起し、後半ではCIOのあり方について、講演したコンサルタントを交えながらCIO相互がディスカッションする形式をとっている。昨夏より数ヵ月ごとにテーマを変えて継続開催しており、すでに通算14回を数える。この8～10月の第4クールでは、次の2つのテーマで4回開催した。

まず、「情報システムの戦力化」では、情報システム投資の効果の評価が不明確になっている現実を踏まえ、むしろ発想を変えて「事業収益が上がるよう情報システムを作る（＝情報システムを戦力化する）」ための仕組みやその考え方を提起した。経営、ユーザー、情報システム部門間の「コラボレーションの三角形」を最適化する方策例を紹介した。

また、「本社管理間接部門の業務革新」では、「強く大きな機能を保持した小さな本社」を指向した業務革新の観点や情報技術の適用方法などを提起した。業務アカウンタビリティの分散化、定常的管理事務サービス機能のスリム化、業務ガバナンスの集中化のコンセプトが多くの企業で有効であったこと、推進方法ではMT（経営技法）×IT（情報技術）トップダウン×ボトムアップに留意するべきことなどを紹介した。

後半の懇談では、提起されたテーマに関する活発な議論はもちろん、各CIOから悩みやぼやきが吐露されることも多く、類似体験を基に他のCIOが対応策を提起するなど、活発な意見交換が行われた。ERP（統合業務システム）、SCM（サプライチェーン・マネジメント）、ナレッジマネジメントなどの話題が頻発しており、双方向で意見交換できる場として好評を得ている。今後も、CIOを支援するための各種情報発信と懇談を続けていく予定である。

本セミナーについてのお問い合わせは下記へ
経営情報コンサルティング部 増田有孝
電話（03）5203-2225
電子メール a-masuda@nri.co.jp